

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	小学校外構工事事業			
予算科目	10 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課: 学校教育課 電話番号(内線): 089-989-9871			
記入者情報	所属長: 靄岡 正直 担当責任者: 武知 斉			
実施期間	【開始年度】平成 27 年度 【開始年度】平成29年度			
事業の対象	中山学校給食センター、中山小学校外構・渡り廊下			
事業の必要性	昭和54年に建築され、老朽化が進んだ中山中山給食センターが不要となることに合わせて、配送車の駐車スペース等を確保しなければならない。また、中山小学校においては門扉がないため、不審者対策等を目的とした外構整備も合わせて実施する必要がある。さらに渡り廊下については安全性を確保するため、耐震化の実施も必要である。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	出漕2番耕地143番地	
運営方法	【運営方法】 直営	【運営費(予定)】		
事業の目的	廃止となる施設を解体し、学校施設の整備を実施することで、生徒の利便性や教育環境の改善を図る。			
事業の内容	中山給食センター解体及び駐車場整備、正門及び外構の整備、渡り廊下の耐震化			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	0	1,597	0	0
	人件費	0	322	161	322
	合計	0	1,919	161	322
人件費 内訳	人工数	0.00	0.04	0.02	0.04
	人件費単価	0	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	321	160	321
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	1,919	161	322

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
設計業務		1,597					
年度別事業費		1,597					
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,597				
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	進捗率＝当該年度までの事業費÷全体の計画事業費			
指標設定の考え方	事業完了を100と設定し、全体計画に対する年度毎の支出計の割合（進捗率）を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	校舎東側の渡り廊下の耐震診断業務と併せて評定取得業務が必要となり、所要の日数を要するため、繰越となり事業継続中。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	学校給食センターでの業務集約により、必要な業務であるが、中山給食センター解体及び中山小学校外構工事に伴う設計業務が繰越となったため、確実な事業実施を図っていかなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	中山給食センター解体及び中山小学校外構工事を、計画的（平成29年度予定）に進めていかなければならない。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。